

平成29年度進捗評価シート
大館市歴史的風致維持向上計画（平成29年3月17日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画実施のための組織体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 重点区域における良好な景観を形成する施策	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 桂城公園(大館城本丸跡)修景整備事業	3
2 一般国道7号(長倉地区)電線共同溝整備事業	4
3 主要地方道大館十和田湖線(御成町南地区)電線共同溝整備事業	5
4 道路美装化整備事業	6
5 大館城跡周辺の土居・緑地保全事業	7
6 大館八幡神社(重要文化財)保存補修事業	8
7 桜櫓館(登録有形文化財)保存補修事業	9
8 大館神明社保存補修事業	10
9 秋田犬情報発信拠点整備事業	11
10 大館神明社周辺環境整備事業	12
11 歴史的資源多言語表示案内板(史跡標柱)整備事業	13
12 歴史案内人育成事業	14
13 小・中学校社会科副読本作成事業	15
14 無形民俗文化財・郷土芸能活動調査支援事業	16
15 地域づくり協働推進支援事業(愛称:地域応援プラン)	17
16 天然記念物(秋田犬)保存及び育成支援事業	18
17 伝統的工芸品(大館曲げわっぱ)活動支援事業	19
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存・活用と今後の方針・計画など	20
2 文化財の修理事業、文化財の周辺環境整備事業、防災に関する取り組みなど	21
3 文化財の普及・啓発に関する取り組み、埋蔵文化財の取り扱いに関する取り組みなど	22
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 佐竹宗家の神輿見学(扇田地区歴まち散歩)他1件	23
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 交流人口の拡大及び広域連携の構築	24
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	25

評価軸①-1
組織体制

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
計画実施のための組織体制	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 本計画の推進体制は、建設部まちづくり課が事務局を務め、庁内の経営会議や、関係課で構成する検討会等と連絡調整を行う。また国や県と協議を行い、助言や支援を得るとともに、大館市歴史的風致維持向上協議会において、計画の推進や計画変更、事業の推進について協議を行う。必要に応じて、文化財所有者や関係団体と協議や調整を図り、都市計画審議会や文化財保護審議会等への報告や助言を得ていく。

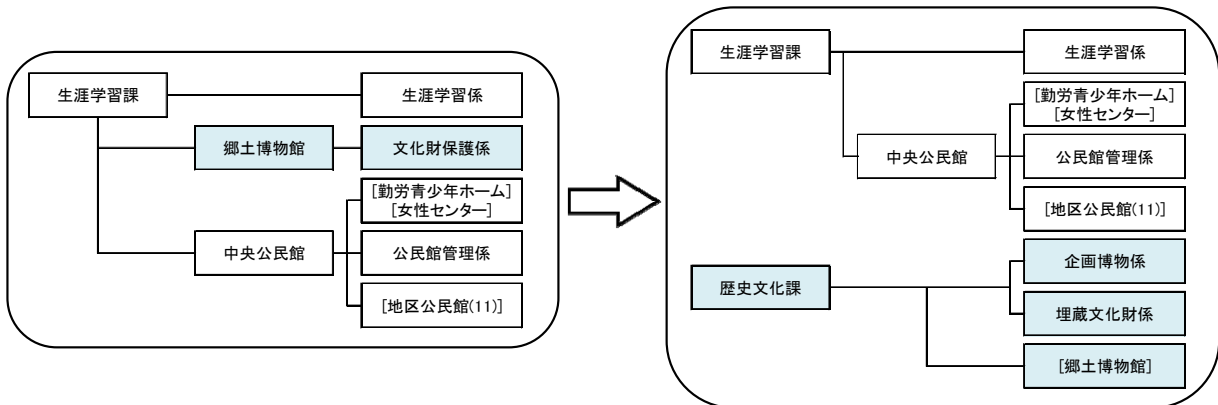
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成29年4月より組織機構の改正により、教育委員会事務局に「歴史文化課」を新設した。
 大館市歴史的風致維持向上計画の認定を受け、今後、文化財保護をはじめとした具体的な事業を進めるにあたり、部門の体制強化を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○教育委員会部局の組織体制の変更
(平成29年4月1日～)



○協議会等の開催状況

- | | |
|------------------|---------------------------|
| ①大館市歴史的風致維持向上協議会 | 平成30年 3月 9日 |
| ②建造物部会(専門部会) | 平成29年12月19日 |
| ③大館市都市計画審議会 | 平成30年 3月23日 |
| ④大館市文化財保護審議会 | 平成29年 6月 7日 、 平成30年 3月23日 |



大館市歴史的風致維持向上協議会
(平成30年3月9日)



建造物部会(専門部会)
(平成29年12月19日)

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成29年度
		現在の状況
重点区域における良好な景観を形成する施策 (1)都市計画法との連携 (2)景観法との連携 (3)屋外広告物法との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 本計画の重点区域内で行う事業と連携しながら、構想を実現化するために、本市固有の自然や歴史、文化などの豊かな地域資源を活用し、市民協働で愛着が湧き、誇りを持てるまち育てを推進する。近年の市中心部の空洞化や、少子高齢化による市街地を取り巻く環境の変化を踏まえ、平成19年に策定したマスタープランにおけるまちづくりの課題や方針について見直しを図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

人口減少や少子高齢化など将来におけるまちづくりについて、協議会やワークショップの開催、またアンケート実施により、本市の現況や課題についてまとめた。

- ①大館市都市再興協議会開催(全2回)
- ②まちづくりワークショップ開催(全2回:延べ参加人数71人)
- ③まちづくり住民アンケート実施(全3,926票配布:回収率70.1%)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

まちづくりを進めるにあたり、課題の解決に向け、住民参画のワークショップを引き続き開催し、将来における魅力あるまちづくりの方針へ反映したいと考えている。

状況を示す写真や資料等

大館市都市再興基本計画

都市再興基本計画は下記の3つの計画の総称

都市計画マスタープラン(見直し)

都市計画法に基づき、まちづくりの基本方針を示す。平成19年度に策定した計画の見直しを行う。

- 計画対象となる地域: 市内全域

立地適正化計画

都市再生特別措置法に基づき、居住機能や都市機能の誘導によるコンパクトなまちづくりに向けた取り組みを目的とし、まちづくりを具体化する指針を定める。

- 計画対象となる地域: 都市計画区域内

地域公共交通網形成計画

上記の計画と一体となって、まちづくりと連携し、効率的で持続可能な公共交通ネットワークを再構築することを目指し、今後の公共交通のあり方を示す指針を定める。

- 計画対象となる地域: 市内全域



良好な景観の形成に関する施策	策定期間(予定)
都市計画マスタープランの見直し	平成29年度～30年度
立地適正化計画	平成29年度～30年度
地域公共交通網形成計画	平成29年度策定完了
都市計画道路の整備方針の見直し	平成30年度～31年度
景観計画の策定と景観条例の制定	平成31年度以降予定
屋外広告物の設置規制や条例の制定	平成31年度以降予定

良好な景観を形成する施策の策定スケジュール



第2回大館市都市再興協議会
(平成30年2月26日)



第2回まちづくりワークショップ
(平成30年2月1日)

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
桂城公園(大館城本丸跡)修景整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～平成38年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 大館城本丸跡は、堀と土塁の一部が往時の面影を残している。平成32年度に完成予定の新庁舎との調和や景観の一体化を図り、城址公園にふさわしい景観形成を目指す。堀や土塁の修景整備を行うとともに、更なる賑わいの拠点となる公園の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・公園の景観を維持する管理業務を継続して実施した。
 ①堀の清掃作業(年1回)
 ②公園の芝生管理(年4回)
 ・新庁舎建設にあたり桂城公園との調和を図る配置計画に考慮した基本設計が完成し、実施設計に着手した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している 新庁舎建設に伴う外構工事等の形状や色彩、施工時期について、実施設計へ反映するため継続して打合せを実施する。
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○新庁舎建設基本設計完成(平成29年6月末)
 新庁舎建設実施設計着手(平成29年10月～)
 (桂城公園との調和を図る配置計画)

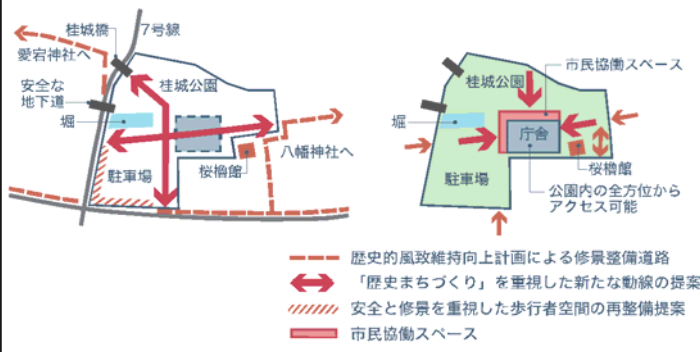
歴史ある桂城公園との調和、景観や機能の一体化を図り、街のにぎわい創出に繋がる配置計画を行います。

まちの中心からまちを活性化する庁舎

- ・まちの中心 大館城跡 という場を活かし、「歴史まちづくり」を推進する、人と情報が集まる庁舎をつくります。
- ・「歴史的風致維持向上計画」や周辺の史跡等をめぐる回遊性を重視した建物配置計画とします。

まちとつながり人が集まる配置計画

- ・整備する「修景整備道路」に対し、公園内でつなぎ、新たな回遊性をつくる庁舎の配置や動線とします。
- ・庁舎がまちと多様なアプローチで結ばれることで、市民が集まり、まちを元気にする賑わいが生まれます。
- ・東側の公園拡張スペースは、桜櫓館との一体利用を想定し、賑わいと安全性に配慮して計画します。



○公園施設の修景整備状況
 通年維持管理の継続



堀に繁茂している草の刈り払い
 除去作業状況



公園内の芝生管理

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
一般国道7号(長倉地区)電線共同溝整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～平成33年度

支援事業名 道路関係/国直轄/電線共同溝事業

計画に記載している内容 一般国道7号は、城下町を通過するとともに、大館神明社例祭時には、御神輿巡行や山車運行の順路となっていることから、町なみの良好な景観や快適な歩行空間を確保するため、無電柱化の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

下り線約220m区間について、電線共同溝本体工事が完了した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

歩道の路面修景について、市が進める道路美装化の方針に沿って整備予定のため、引き続き打合せを実施して熟度を高める必要がある。

状況を示す写真や資料等



電線共同溝本体工事(着手前)



電線共同溝本体工事(完了後)
※歩道部舗装の美装化は最終年度に
施工予定



無電柱化工事本格化を伝える報道記事
(北鹿新聞 平成30年2月19日)

評価軸③-3
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
主要地方道大館十和田湖線(御成町南地区)電線共同溝整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成18年度～平成34年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(道路事業)

計画に記載している内容 主要地方道大館十和田湖線は、大館神明社例祭時には山車合同運行の順路となり、また伝統行事の会場となっていることから、町なみの良好な景観や快適な歩行空間を確保するため、歩道の整備と一体で無電柱化の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

電線共同溝整備工事(L=576m)の実施設計が完了した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

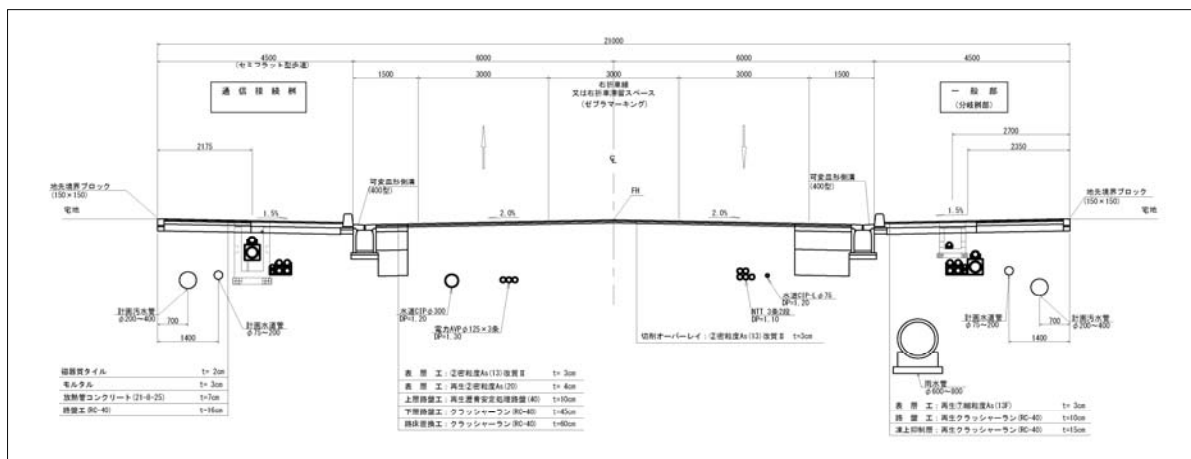
状況を示す写真や資料等



現在の状況写真
(複数の電線の横断状況)



現在の状況写真
(未整備の歩道空間)



計画標準断面図

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
道路美装化整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～平成34年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 大館城下の町割りが残る市街地には、歴史的建造物が点在し、城下町特有の鉤型や袋小路の道路が入り組んでいる。城下町を巡るまち歩きをする際の、回遊性の向上を図るため、路面舗装の美装化を行う。また、街路樹の樹形を整えとともに、植樹帯の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

新富町、新開地地区の桜並木通りの道路修景にあたり、歴史的建造物である料亭の所有者や、地元町内会と整備に向け、意見交換を重ねてきた。あわせて老木である桜並木の生育調査や土壌調査のほか、修景整備に必要な測量及び実施設計を完了した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	桜並木のソメイヨシノは、樹齢が80年から100年のため、更新も視野に入れて整備する必要がある。

状況を示す写真や資料等

○関係者との意見交換会及び桜再生会議の開催状況

- ①桜再生会議 平成29年 8月24日(18人)、平成29年11月29日(11人)
- ②関係者との意見交換会 平成29年 8月 9日(6人)、平成29年10月25日(17人)
- ③土壌調査現場見学会 平成30年 1月16日(13人)



桜再生会議(樹木医と連携)
(平成29年8月24日)



関係者との意見交換会
(平成29年10月25日)



土壌調査現場見学会
(平成30年1月16日)

○平成29年度完了(新富町、新開地地区の道路美装化に向けた調査及び測量設計)

- ①桜並木生育調査及び修景提案業務(15本)
- ②桜並木土壌調査業務(3カ所)
- ③桜並木通り現況測量業務(170m)
- ④桜並木通り修景実施設計業務(170m)



桜並木通り修景イメージ図

評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
大館城跡周辺の土居・緑地保全事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～平成38年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 北側の市街地から大館城を望むと、東の重要文化財八幡神社から西の愛宕神社まで緑の斜面が続き、往時の面影を偲ぶことができる。引き続き、桜などの樹木を適切に管理し、良好な景観の維持を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

桜の樹勢確保を目的に土壌改良を実施した。北側斜面の景観を保全するにあたり、刈り払いを実施するとともに、階段の勾配が急なため、安全な上り下りが可能となるよう補修を実施した。

- ①桜の土壌改良(11本)
- ②北側斜面の刈り払い(年2回)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



桜の樹勢回復工事(土壌改良)



北側斜面の刈り払い(完了後)



公園北側入口にある階段の補修(完了後)
階段の勾配を緩やかにするとともに、
景観型擬木丸太を使用

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況
大館八幡神社(重要文化財)保存補修事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～平成31年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 重要文化財八幡神社(正八幡宮本殿・若宮八幡宮本殿)を保護する覆屋は、老朽化が進んでいることから、本殿を保全するための対策に取り組む。覆屋の改修にあたっては、できるだけ参拝者が本殿を拝観しやすい構造も考慮しながら、本殿を安全に管理できるように整備を行う。あわせて重要文化財への延焼を防ぐ防火対策の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

拝殿・幣殿・覆屋(重要文化財を除く)建造物群について、大館市歴史的風致形成建造物に指定した。建造物の保全に向け、予備調査資料が無いことから、現況調査と耐震診断を含む基本設計を完了した。
 ・大館市歴史的風致形成建造物指定(第1号) 平成29年12月1日

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

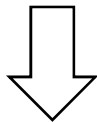
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

建造物群は、全体的に腐朽が進んでいることなどを含め、保存、管理及び活用するうえでの課題がある。その課題の解決のほか、重要文化財への理解がさらに深まるよう整備を進める。

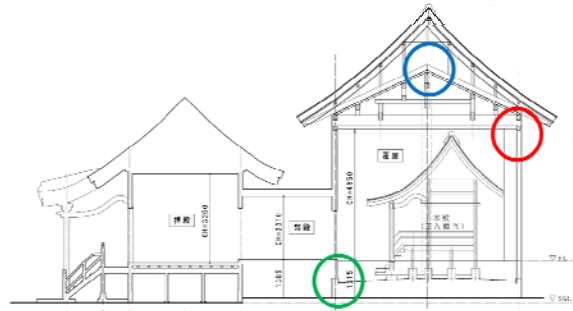
状況を示す写真や資料等

○現況調査の結果

主部材(土台、柱)の補強工事



- ・建物全体の腐食が著しい
- ・二重屋根の小屋組が不安定
- ・屋根のジャッキアップが難しい



覆屋を建替え(解体、新築)



土台外部(腐食状況)



柱外部(腐食状況)



覆屋根(小屋裏状況)



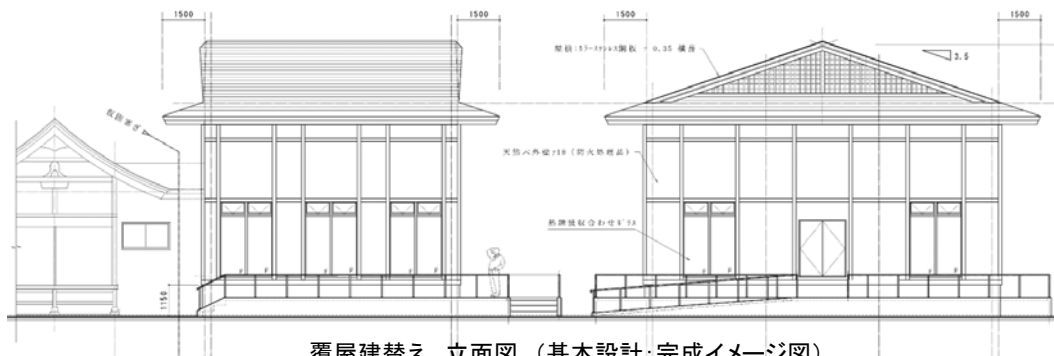
小屋組の仕口のズレ



親梁の腐食状況(横から)



親梁の腐食状況(上から)



覆屋建替え 立面図 (基本設計:完成イメージ図)

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
桜櫓館(登録有形文化財)保存補修事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～平成32年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 個人が所有管理している登録有形文化財について、施設の市有化を図り、大事に管理されてきた建造物の保存補修を行う。また、市庁舎や桂城公園に隣接していることから、市民や来訪者が建造物を見学できる環境整備や多様な利用を促進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大館市歴史的風致形成建造物に指定した。建造物の市有化にあたり、買い取りに向けて、敷地面積確定測量ならびに建物工作物等補償調査算定を完了した。また、所有者は、市民や来訪者向けに建物を一般公開し、文化財の理解向上に努めた。

・大館市歴史的風致形成建造物指定(第3号) 平成29年12月1日

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

登録有形文化財の市有化後の活用について、多様な利用促進を目指し、方針の熟度を高める必要がある。

状況を示す写真や資料等



桜櫓館(建物・工作物等配置図)



初秋の桜櫓館



文化財の一般公開の様子
平成29年10月14日(とうほく街道会議探訪会)
参加者31人



登録有形文化財の取り組みの紹介
平成29年11月11日(秋田県建築士会)
参加者約100人

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
大館神明社保存補修事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～平成32年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 大館神明社は、藩政期から町人町の鎮守社であり、例祭は本市を代表する秋祭りとして受け継がれている。例祭が執り行われる本殿を含む建造物群の老朽化が進んでいることから、関係者と協議しながら建造物の文化的価値が失われないように保存補修に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大館市歴史的風致形成建造物に指定した。大館神明社本殿は、過去の曳家が原因で、盛土基礎ブロックが傾いていることから、補修工事に向けた実施設計を完了した。

・大館市歴史的風致形成建造物指定(第2号) 平成29年12月1日

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

補修工事を実施する際は、工事概要を広く周知するとともに、安全を考慮した上で公開する。

状況を示す写真や資料等



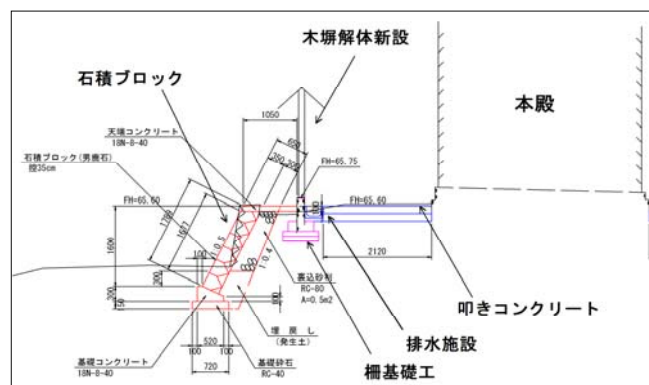
町人町の鎮守社の大館神明社



盛土基礎ブロックのクラック



本殿盛土基礎ブロック補修工事(計画平面図)



本殿盛土基礎ブロック補修工事(計画構造図)

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
秋田犬情報発信拠点整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～平成33年度

支援事業名 秋田県市町村未来づくり協働プログラム(県補助)、社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 市の玄関口である大館駅の駅前広場にある忠犬ハチ公銅像と秋田犬群像は、市民に親しまれ、来訪者を迎えている。毎年4月にハチ公の慰霊祭、10月に生誕祭が開催され、市民の活動が現在も続いている。観光交流拠点施設「ハチ公の駅(仮称)」の整備を行い、天然記念物秋田犬の歴史や文化を情報発信する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「ハチ公の駅(仮称)」の新築工事及び周辺整備工事に向けた実施設計が完了した。
 ・ハチ公の駅周辺整備詳細設計完了(平成29年7月～12月)
 ・ハチ公の駅新築実施設計完了(平成29年6月～12月)

進捗状況 ※計画年度との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

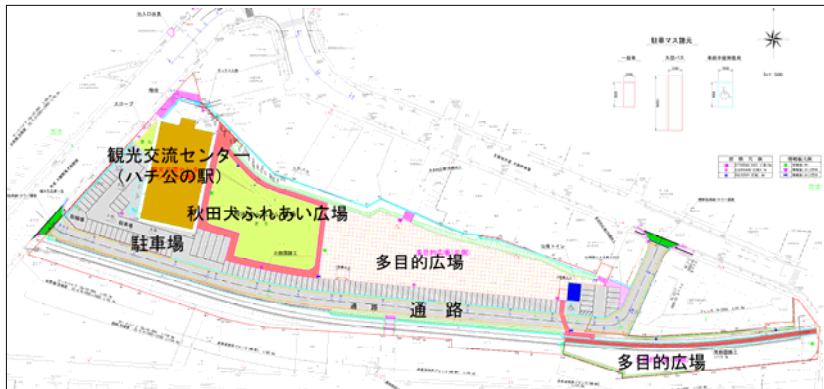
状況を示す写真や資料等



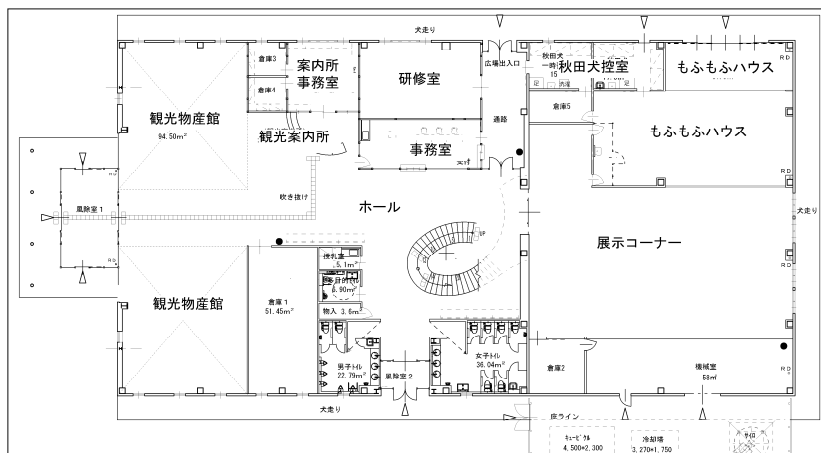
大正時代の渋谷駅



ハチ公の駅(仮称)の整備イメージ図



全体事業計画図



ハチ公の駅(仮称)計画平面図

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
大館神社周辺環境整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～平成32年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 大館神社の例祭では各講の大きな山車が、境内に参拝のため集結することから、周辺から出入りする環境を整えるとともに、山車のスムーズな運行と来訪者が安全に観覧できるように、駐車場を兼ねた広場を整備する。また、境内には石碑や記念碑などが多数存在することから、市民や来訪者が周遊できる散策路などを整備してその活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大館神社周辺環境整備にあたり、関係者と協議を重ねてきた。境内整備計画に必要な現況測量調査を完了した。
 ・大館神社境内測量調査(面積約1.7ha)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

境内整備にあたり、事業の優先順位を決定するとともに、年次計画に反映させ、整備を進めていく。

状況を示す写真や資料等

①本殿盛土基礎補修の実施
 (盛土基礎ブロックが傾き、亀裂が生じており、本殿への影響が懸念されるため、再構築)

②参道の美装化
 (拝殿前の参道が黒舗装であるため、趣が感じられる石畳風の参道に美装化)

③曳山車の参拝通路や駐車場(広場)の整備
 (境内に参拝する曳山車の一方通行ルートや待機場所となる駐車場を兼ねた広場の整備)

④記念碑や石碑などをめぐる散策路の整備
 (境内に複数存在する記念碑や石碑を西側に移動し、歴史的資産をめぐる散策路を整備)

⑤お堀のせせらぎの再生
 (堀壁の劣化箇所の補修や堀内の沈殿物を撤去するとともに、井戸水を確保し、堀内にせせらぎを再生)

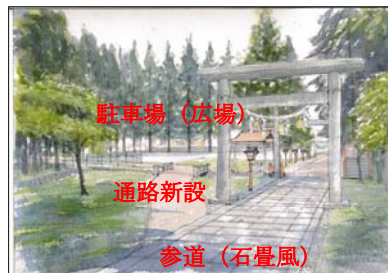
⑥景観型フェンスの設置
 (境内周辺にある既存のコンクリート柱などが老朽化しているため、景観に配慮したフェンスを設置)

⑦齋館屋根葺き替え及びトイレの水洗化
 (齋館屋根葺材が劣化しているため、葺き替えを実施するとともに、齋館内のトイレの水洗化)

平成37年(2025)の350年記念例祭に向けた整備計画(案)



事業計画説明
 (平成29年8月1日 氏子総会)
 参加者32人



整備完成イメージ図



評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
歴史的資源多言語表示案内板(史跡標柱)整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～平成32年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域に点在する歴史的資源への案内が不十分であり、また歴史的資源の管理者が不在の場合、市民や来訪者への対応が困難となっている。外国人観光客を含めた来訪者への対応として、多言語表示及びQRコード付の案内板や史跡標柱の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大館市どこでも博物館の会と連携し、教育振興や観光振興等を図るため、市内の由緒ある歴史的資源(史跡)に多言語対応QRコード付きの標柱を設置し、情報発信を図った。また、リンク先のホームページ用の説明文について、写真や図を取り入れて充実を図った。

- ・平成28年度 17カ所、平成29年度 9カ所
- ・多言語対応「日本語、英語、中国語(繁体語・简体語)、韓国語、タイ語」

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

建造物までの回遊性を図るため、増設した標柱の案内をバスマップに追記予定である。

状況を示す写真や資料等

NO.	標柱名称(設置力所)
1	長走風穴高山植物群落
2	芝谷地湿原植物群落
3	白沢御膳水
4	三哲神社
5	日景温泉
6	片山八坂神社
7	板沢一里塚
8	大館役屋・岩沢太治兵衛居宅跡
9	部垂八幡神社

平成29年度史跡標柱設置力所



史跡標柱設置状況



多言語対応QRコード付き説明板

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
歴史案内人育成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～平成38年度

支援事業名 市単独事業、生涯現役促進地域連携事業

計画に記載している内容 市民や来訪者向けに、地域に残る歴史的資源や歴史・文化について語ることができる案内人を育成するため、講習会や現地視察などの研修を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

とうほく街道会議(第13回交流会)において、「ガイドから始まるまちづくり～歴まちガイドを目指して～」について、パネルディスカッションや歴史探訪会を行った。
 また、大館市高齢者活躍支援協議会が事業主体となり、2回にわたり歴史や観光などの案内人養成講座を行った。
 ・第1回目養成講座(10人受講)、第2回目養成講座(9人受講)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

とうほく街道会議第13回交流会 大館大会
 ～“歴まち”大館の明日を考える～
 第2分科会
 パネルディスカッション
 「ガイドから始まるまちづくり ～歴まちガイドを目指して～」

資料

1. 矢立自然友の会 会長 中村 弘美 氏	1頁
2. 男鹿半島・大瀧沼パークガイドの会 会長 澤木 博之 氏	別添資料
3. NPO 法人小田原まちづくり応援団 副理事長 平井太郎氏	5頁



とうほく街道会議 第13回交流会

左: パネルディスカッション次第 平成29年10月13日(参加者82人)

右: 歴史探訪会(矢立峠コース) 平成29年10月14日(参加者36人)

観光案内人養成講座		
日程	日時	講座内容
1日目	平成29年7月6日(木) 13:00～16:30	観光案内人とは? いざ! 観光案内体験
2日目	平成29年7月11日(火) 13:30～16:30	大館市の観光の現状と施策 特産品について
3日目	平成29年7月13日(木) 13:30～16:30	大館市の観光行事と祭り 観光施策の概要
4日目	平成29年7月19日(水) 13:30～16:30	大館市の歴史まちづくり
5日目	平成29年7月20日(木) 13:00～16:30	実地研修



観光案内人養成講座の様子(10人受講)
(平成29年7月19日)

ふるさと大館探究講座～大館の魅力を再発見～		
日程	日時	講座内容
1日目	平成30年3月6日(火) 13:30～15:30	大館市の歴史 忠犬ハチ公について
2日目	平成30年3月7日(水) 9:50～16:00	大館の魅力を体験!
3日目	平成30年3月9日(金) 13:30～15:30	大館の特産品 大館の魅力について考える



ふるさと大館探究講座の様子(9人受講)
(平成30年3月9日)

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
小・中学校社会科副読本作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和43年度～平成38年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 未来の大館市民を育成する「ふるさとキャリア教育」の一環として、小中学校の児童生徒が本市の歴史や暮らしについて、より理解を深めることができる分かりやすい社会科副読本を作成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年度より編集に取り組んできた中学校社会科副読本を平成29年4月に発行した。
 ・市内中学校8校及び図書館等関係機関に配布し、小学校では総合的な学習で大館について調べたい時の資料として、また中学校では歴史分野の資料として積極的に使用している。
 地域資源を盛り込んだ「大館ふるさとカルタ」を、大館市観光協会や大館市立栗盛記念図書館などが共同制作した。
 ・ふるさとキャリア教育の教材として市内17小学校に配布

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



中学校社会科副読本「わが郷土 大館市」
(平成29年4月発行)



ふるさとカルタ大会の様子
(平成30年3月10日 栗盛記念図書館)
参加者21人



大館ふるさとカルタ完成
市教育委員会への贈呈式の様子を伝える報道記事
(平成30年3月9日 北鹿新聞)

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
無形民俗文化財・郷土芸能活動調査支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和59年度～平成38年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市内には、詳細な調査や研究がなされていない郷土芸能が数多く残っている。無形民俗文化財の保護活動を継続している団体や大館市郷土芸能保存協会と課題を共有し、活動を継続するために必要な支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

地域文化遺産を活用した事業に取り組むにあたり、民間団体を募集したところ、4団体から応募があった。この4団体が文化振興や地域活性化の推進を目的に、「大館市文化遺産活用まちづくり実行委員会」を平成30年2月22日に設立した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

平成30年度～34年度(5カ年)の事業期間中は、参加団体の募集を継続し、その都度事業内容を見直していく必要がある。

状況を示す写真や資料等

NO.	参加団体名
1	大館市郷土芸能保存協会
2	大館・北秋田建築士会
3	大館神明社例祭余興奉納実行委員会
4	大館ばやし保存会

大館市文化遺産活用まちづくり実行委員会組織団体
(平成30年2月22日設立)

NO.	事業区分	事業内容
1	情報発信	文化遺産ホームページ作成事業
2		文化遺産パンフレット作成事業
3	人材育成	ヘリテージマネージャー育成事業
4	普及啓発	秋田の祭囃子シンポジウム等開催事業
5	記録作成	大館囃子教則映像記録事業
6	後継者養成	大館囃子講習会事業

文化遺産総合活用推進事業計画

歴まちと連動、活性化を
大館の4団体
まちづくり実行委設立

文化遺産活用など 民間主体の活動推進

大館市文化遺産活用まちづくり実行委員会
設立を伝える報道記事
(平成30年2月23日 北鹿新聞)

大館市文化遺産活用まちづくり実行委員会
設立を伝える報道記事
(平成30年2月23日 北鹿新聞)

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目	現在の状況	
地域づくり協働推進支援事業(愛称:地域応援プラン)	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成22年度～平成32年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域住民の「地域をもっと良くしよう」「住みやすい地域にしよう」という熱意のもとに、まちづくりや地域活性化に取り組む活動に対して支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成29年度地域応援プランにおいて、採択された5団体のまちづくりや地域活性化に取り組む活動に対して支援を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



地域応援プラン公開プレゼンの様子
(平成29年4月27日 中央公民館)

NO.	項目	地域	地区	団体名	活動年数	活動テーマ
1	活動支援	大館	矢立	粕田町内会	2年目	伝統文化の継承と地域の安全安心、空き家対策
2		大館	十二所	葛原自治会	2年目	老犬神社を活用した地域活性化
3		大館	大館	山王台町内会	2年目	地域の世代間交流事業「ふれあい農場」
4		大館	矢立	矢立自然友の会	2年目	秋田杉、温泉、羽州街道を活用した地域活性化
5		大館	大館	御成町一丁目町内会	1年目	駅前周辺の活性化、災害に備えたまちづくり

平成29年度 地域応援プラン 活動支援団体



粕田人形様の由来が分かる説明板などを整備
(粕田町内会による活動)



矢立峠歴史の道の案内板や遊歩道などを整備
(矢立自然友の会による活動)



評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度
		現在の状況
天然記念物秋田犬の保存及び育成支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和54年度～平成38年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 天然記念物秋田犬は、秋田犬保存会により保護や繁殖、普及活動が行われている。大館城本丸跡の桂城公園で開催している全国規模の本部展覧会には、市民や全国から愛犬家が訪れる。近年、登録されている秋田犬の減少や保存会の会員減少が課題となっていることから、その解決に向け取り組みを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

秋田犬保存会は、創立90周年を迎えるとともに、第136回本部展覧会を平成29年5月3日に開催した。秋田犬博物室ならびに大館駅前の秋田犬ふれあい処の利用者は、秋田犬の人気の上昇により大幅に増加した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



秋田犬保存会創立90周年記念
第136回本部展覧会の開催
(平成29年5月3日 桂城公園)

	秋田犬博物室 (秋田犬会館)	秋田犬ふれあい処 (大館駅前)
4月	612	
5月	1,525	
6月	1,236	
7月	991	8/10オープン
8月	2,046	2,904
9月	1,072	692
10月	1,047	681
11月	888	753
12月	166	875
1月	220	1,207
2月	389	1,123
3月	542	2,102
計(人)	10,734	10,337

- 平成29年度
- ・秋田犬博物室の観覧者数
 - ・秋田犬ふれあい処の来場者数

	犬籍登録数(頭)				会員数(人)			
	国内	海外	計	増減	国内	海外	計	増減
平成27年	2,400	1,267	3,667		2,245	510	2,755	
平成28年	2,628	3,922	6,550	78.6%	2,217	819	3,036	10.2%
平成29年	2,704	3,967	6,671	1.8%	2,310	683	2,993	-1.4%

秋田犬犬籍登録数と秋田犬保存会会員数の推移



秋田犬ふれあい処 来場者数8,888人
「ハチ」にちなんだ記念セレモニーの様子
(平成30年3月16日)

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況
伝統的工芸品(大館曲げわっぱ)活動支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成21年度～平成38年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 伝統的工芸品の大館曲げわっぱの製造における基本的な技術は、伝統工芸士が受け継いでいる。大館曲げわっぱ協同組合と連携を図り、曲げわっぱの製作体験ができる工場の運営や、伝統工芸の継承活動、商品の販路拡大の支援を行う。また、原材料である天然秋田杉の供給が難しい現状を受け、代替となる原材料の安定的な供給が課題であるため、適材木の研究を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大館曲げわっぱ体験工房は、県外からの見学者や体験者の割合が多いうえ、1年を通して利用されている。また、原材料となる秋田杉の安定供給を目指し、森林整備計画に100年を超える長伐期の施業森林を設定した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

平成29年度	工房見学者			曲げわっぱ体験				体験キット内訳			
	県内	県外	合計	団体数	県内	県外	合計	丸弁当	七寸盆	パン皿	合計
4月	52	168	220	19	12	35	47	34	1	10	45
5月	140	189	329	26	15	40	55	42	1	9	52
6月	22	117	139	7	26	2	28	14	6	8	28
7月	16	113	129	12	38	32	70	29	2	39	70
8月	39	270	309	23	3	48	51	29	1	14	44
9月	18	121	139	15	18	26	44	16	1	25	42
10月	15	148	163	32	36	63	99	74	1	23	98
11月	16	52	68	9	32	10	42	8	1	33	42
12月	21	83	104	10	9	9	18	12	5	1	18
1月	21	104	125	10	31	21	52	44	1	5	50
2月	47	179	226	19	18	60	78	65	1	4	70
3月	42	123	165	19	14	31	45	25	1	14	40
合計	449	1,667	2,116	201	252	377	629	392	22	185	599

平成29年度大館曲げわっぱ体験工房利用状況



県外からの曲げわっぱ体験
(平成29年4月2日 体験工房)



本場おおだてきりたんぼまつり
(平成29年10月7日～9日 樹海ドーム)
参加者37人

○伝統的工芸品「大館曲げわっぱ」

・樹齢150年以上、径級50cm以上の丸太供給を目指す。



○新たな施業方法の追加「150年伐期」

○「公益的機能別施業森林等の整備に関する事項」
→新たな施業方法として「大径材等良質材生産機能維持増進森林」を追加

・市有林内に「大館曲げわっぱ150年の森(仮)」設置予定。

→長伐期施業森林(100年)を超える、150年伐期の森林を設定。



大館市森林整備計画(概要版)一部抜粋

大館曲げわっぱの原材料の供給に向け、長伐期施業森林を追加

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
文化財の保存・活用と今後の方針・計画など		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 これまでの調査研究を生かしつつ、現状と実態の把握に努め、収集した情報をデータベース化する。文化財指定がふさわしいと判断されたものについては、市の指定に向けて取り組む。歴史的建造物は、以前に行われた調査の結果を活用し、詳細な調査を行う。無形民俗文化財については、次世代に伝えるための調査・記録保存を継続する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・鳥潟会館・庭園(県指定文化財)については、国指定を目指す取り組み方針を固め、次年度から準備委員会を立ち上げることとした。建造物等については、新たに歴史的風致形成建造物となったものを確認するとともに、今後残すべきものについて検討している。伝統芸能等については、これまで映像記録などをDVDとして残している。平成30年2月に結成した文化遺産活用まちづくり実行委員会において、平成30年度より大館ばやし教則DVD作成などに取り組む計画である。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

・文化財の維持管理には多くの財源が必要で、所有(管理)者の負担も大変である。新たな文化財を指定する場合でも、この点が支障となって簡単には同意いただけない場合もあるため、今以上の支援態勢が望まれる。

状況を示す写真や資料等



市の文化財指定を検討している曲げ物(道目木遺跡出土)



これまで製作した郷土芸能のDVD

鳥潟会館庭園

国名勝の指定目指す

大館市 準備委立ち上げへ

大館市教育委員会は18年度、同市花岡町の鳥潟会館庭園の国名勝指定を目指す。名勝調査準備委員会を立ち上げる。修繕計画策定の過程で専門家ら価値を評価し、国指定を推進されたことから動き本格化する。まずは調査の進捗を進め、事業内容を協議していく。国指定を受ければ、大館市に人を呼び込むことになる。

鳥潟会館は、1800年代、材が使用されている。2011年から白花岡村の軒いりを、13月に建物が異形文化財。庭園が国名勝に指定される。17代主の隆徳博士(鳥潟三郎)の邸宅跡とされる。12、16年度の調査により、18年度(昭和11年)から5年をかけて庭園の拡張、建物の増改築が行われた。京風の邸院が取り入れられ、随所に庭の奥に価値を評価され、国指定を国名勝指定を目指す鳥潟会館。国名勝指定を目指す鳥潟会館。国名勝指定を目指す鳥潟会館。国名勝指定を目指す鳥潟会館。

保存に向けた調査を進めると、まず準備委員会を立ち上げて将来的な指定を目指す活動することにした。今後専門家を中心に委員の選定を進める。委員は助産師の受けながら関係者への聞き取り、当時の文献・図面などの史料集めを行う予定。準備が整った段階で、正式に調査準備委員会の設置を目指す文化庁に申請する考え。認められれば本調査が開始され、国指定の可能性が高まるといふ。

市教育委員会の若司課長は「国指定として評価されれば、大館市に人を呼び込む。住民が地元文化財に誇りを持つこともできる。鳥潟会館を大館の財産として保護するために取り組んでいきたい」としている。

国名勝指定を目指す鳥潟会館。国名勝指定を目指す鳥潟会館。国名勝指定を目指す鳥潟会館。国名勝指定を目指す鳥潟会館。

鳥潟会館庭園の国名勝の指定を目指す
 報道記事
 (北鹿新聞 平成30年4月1日)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
文化財の修理事業、文化財の周辺環境保全事業、防災に関する取り組みなど		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財の修理にあたっては、法令等に基づき、また文化庁等の関係機関の指導を受けつつ整備を行う。また、修理事業等の支援や各種財団等の補助制度の活用について助言を行う。文化財の周辺環境については、周辺の環境と調和のとれたものとする。防災については、防災教育、訓練に取り組む必要があるため、文化財防火デーの取り組みにより、防火意識を高める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・北鹿ハリストス正教会のイコン(市指定文化財)19点のうち、6点の修復を行うため、市の補助金を交付し、実現することができた。また、重要文化財八幡神社(正八幡宮本殿・若宮八幡宮本殿)の覆屋改修に向けて準備を進め、実施設計に着手する見通しができた。
- ・長走風穴館の改修を行い、インバウンド対応に考慮しつつ、天然記念物の保護と活用を強化することができた。
- ・文化財防火デーに重要文化財八幡神社で防火訓練を実施した。(参加者約40名)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

・個人や民間団体が所有する文化財については、補助制度を活用しても相当の負担が必要であるため、修復等を行うのが困難な状況である。公共事業として周辺環境と一体に整備することが望ましい。

状況を示す写真や資料等



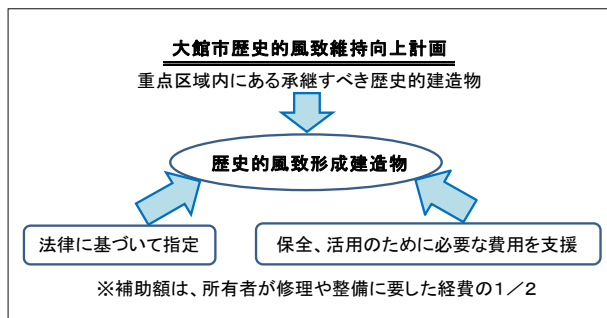
修復前

修復後

北鹿ハリストス正教会
イコン(6点)修復完了



風穴の温度(屋外表示板設置)



大館市歴史的風致形成建造物保存整備事業補助金
交付要綱の内容
(平成29年10月1日制定)



文化財防火デー防火訓練状況
重要文化財八幡神社(平成30年1月26日)
参加者約40名

評価軸④-3
文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成29年度 現在の状況
文化財の普及・啓発に関する取り組み、埋蔵文化財の取り扱いに関する取り組みなど		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
文化財関係施設では、定期的なガイドツアーなどを行い、文化財への理解を深める機会を提供している。これまでの活動とあわせて、歴史案内人の育成や、講演会・シンポジウムを開催し、文化財の保護と活用の意識を高めるための事業に取り組む。また、埋蔵文化財包蔵地については、秋田県教育委員会の指導を仰ぎながら、開発に係る事業者などと十分な協議のうえ、その保存を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・長走風穴クイズラリー・ガイドウォーク、鳥潟会館おひなさま展・ガイドウォークを実施(計675人)。大館城跡の発掘調査は2年目を終え、現地説明会には148人が参加した。そのほか10カ所の発掘・試掘調査と7件の工事立会により、開発事業に対応した。 ・ニホンザリガニの再生事業に関連して、水槽で生体を展示し、天然記念物に関する理解を深める取り組みを行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・開発事業者に埋蔵文化財の保護の必要性がまだまだ浸透していない。様々な窓口と連携して、スムーズに埋蔵文化財の確認ができるように取り組む必要がある。	
状況を示す写真や資料等		



ニホンザリガニの再生事業
(水槽で生体を展示し、天然記念物の理解を深める取り組み)



公開研究会 IN大館Ⅲ
～ 源 義光と大館 ～
平成29年10月21日(参加者約100名)



大館城跡内堀発掘調査説明会を伝える報道記事
(北鹿新聞 平成29年11月5日)
参加者約140名

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度	平成29年度 掲載紙等
佐竹宗家の神輿見学(扇田地区歴まち散歩)	平成29年7月16日		北鹿新聞
第2回歴史まちづくりシンポジウム	平成30年3月11日		北鹿新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成29年3月17日に認定を受けた後も、計画の具体化方策や歴まち散歩の取り組みについて、地元紙に掲載されたことにより、計画について広く周知することができた。また、行政のみの取り組みだけではなく、市民活動についても掲載される機会が増えた。

平成30年3月10日の第2回歴史まちづくりシンポジウムは、人口減少社会に挑むをテーマに開催し、約170人の市民のほか、市外や県外から約30人が参加した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

- 歴まちに関連した報道記事(北鹿新聞)
- ・H29. 4. 5 中尊寺ハス株分け
 - ・H29. 5.13 歴まちアンケート結果
 - ・H29. 6.23 歴まち散歩(独鈷)
 - ・H29. 8. 2 錦神社ハス開花
 - ・H29. 8.18 歴まち散歩(鳳凰山)
 - ・H29.11.30 桜再生会議開催
 - ・H29.12.20 歴史的風致形成建造物指定
 - ・H30. 1.17 桜並木土壌調査見学会
 - ・H30. 3.10 歴史的風致維持向上協議会
- その他、伝統行事や具体化方策の進捗等の記事複数あり

本誌の取材を通じて、大館市の歴史と文化について、市民の関心が高まっていることが分かった。また、まちづくりの取り組みについて、市民の意見が反映される機会が増えていることが分かった。

評価軸⑥-1
その他(効果等)

	評価対象年度	平成29年度
--	--------	--------

項目
交流人口の拡大及び広域連携の構築

計画に記載している内容 歴史的風致の維持及び向上する取り組みは、歴史や文化を活かした活力あるまちづくりにつながり、歴史的風致の価値が高まるとともに、地域活性化や交流人口の拡大が期待できる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

・地域連携DMO(秋田ツーリズム)や3D(函館・大館・角館)の取り組みの促進
 ・奥州藤原氏を基軸とした広域連携の構築(平泉町・中尊寺・毛越寺～横手市～美郷町～大館市・地元町内会)
 その結果、東北歴まち認定都市や、奥州藤原氏の縁を巡る都市、天然記念物秋田犬をフックに交流が続く都市、そして3D連携都市など、数多くの都市とネットワークを構築した。

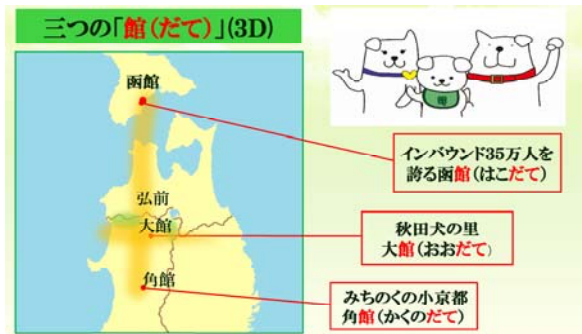
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
 ■計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



○広域連携都市の位置
 東北の歴まち認定都市や奥州藤原氏の縁を巡る都市とのネットワーク形成を目指している。
 また、函館を玄関口とする北海道と天然記念物秋田犬をフックに交流が続く渋谷区などの首都圏を結ぶ。



秋田犬東京フォーラムの開催
 (平成30年1月20日 TKPガーデンシティ渋谷)
 参加者約100名



3D連携フォーラムin角館の開催
 (平成29年9月29日 角館温泉)
 参加者約80名



地域住民が奥州藤原氏との縁を継承(ハスの株分け)
 (平成29年8月26日 大館市・錦神社)
 参加者約30名



「奥州藤原氏」関連市町村意見交換会
 (平成30年2月20日 平泉町)
 参加者約30名

評価対象年度	平成29年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称：第4回大館市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時：平成30年3月9日(金)午後3時～午後4時35分	
(コメントの概要)	
<p>○大館市は、都市計画マスタープランの見直し、立地適正化計画、地域公共交通網形成計画など、歴史と未来に関わる計画の策定がいっぺんに動いている。当協議会において、未来を考える大館と一緒に議論することは、大変重要である。</p> <p>○歴史的建造物を解体前に記録保存するほかに、コスト面の課題もあるが、解体した部材を残しておく活用可能性が出てくる。</p> <p>○桜並木のソメイヨシノは短命な樹木なため、50年後の姿を見据えて、更新も含めて考える必要があると思う。</p> <p>○歴史的建造物の調査において、日程的に厳しかったことから、調査に必要な日程を確保してほしい。</p> <p>○完成した大館ふるさとカルタは、小学生に大館の良さを気づいていただけるツールになるので、大いに活用してほしい。</p> <p>○大館市史の編さんから40年以上経っている。その後新たに発見されたものや、これから発見されるであろうものの保存が大切になってくる。</p> <p>○将来に活動の柱となる子供達に、大館の良さを伝えることが一番大切である。大人が自分の町の良さを子供に伝えない限り、子供は自分の町の良さを分からないまま、町を出て行ったきり帰って来なくなる。自分の生まれ育った町に誇りを持たせるには、子供達を巻き込んだ取り組みが必要である。</p> <p>○ハードとソフトの利活用について、民間の方々と一緒に進めていく必要がある。民間の方々がこの活動を支えて、大館のシビックプライドを体現して、大館を訪れるの方々への情報発信に繋がっていく。</p> <p>○記録や映像の作成で終わりではなく、それを受け取った側の育成も必要である。子供の頃から体得できる取り組みなどを学校教育と連携しながら進めていく必要がある。</p> <p>○重要文化財八幡神社を保護する覆屋改修にあたり、重要文化財の本殿が何百年ぶりに皆様の目に触れる機会となるので、ぜひ修理現場の公開を企画してほしい。</p> <p>○中心市街地の空き店舗について、祭りをテーマとした伝承館など利活用を検討してほしい。</p> <p>○ハチ公の駅(仮称)に、忠犬ハチ公が今まで人々に与えた効果等について展示してほしい。</p>	
(今後の対応方針)	
<p>○八幡神社の覆屋改修は、氏子の皆様と工法や費用の面についてご相談を重ねて、本殿を確実に守ることを最優先に考え、実施設計につなげていく。</p> <p>○桜並木の土壌は厳しい状況にあるため、根上がりや縁石への喰い込みを防げるよう、植樹帯の整備を進めていく。</p> <p>○大館に帰ってくる、また暮らしていく子供たちを育てる意識を、この計画を進める中で作り出していきたい。</p>	